

# 製造業安全対策に関するトップ会談 【セッション2】

平成29年9月28日

日本製紙連合会 副会長（労務部会長） 鈴木 邦夫  
（三菱製紙株式会社 代表取締役社長）

## JPA 経営理念と安全対策（日本製紙連合会）

### 【本年の日本製紙連合会・会長年頭挨拶】

- ・労働環境の安全確保は、最も重要な課題の一つである。
- ・特に昨年からは、職場・工程ごとに特有の危険源の洗い出しを行い会員各社間での共有をはかるといった、重篤災害撲滅に特化した活動を新たに展開してきている。

### 【9月度理事会確認事項…臨時入構業者による災害発生を受け】

- ・自社の事業場に受け入れる以上、どのような人であっても、無事に入構の目的を遂げ、退場してもらうことが、事業場長さらには経営トップの責任である。



- ・従来の取組みに加え、臨時入構業者対策を中心に早期に実施すべき事項は、『緊急対策』として速やかに企業への実施を促す。
- ・また、安全に関する専門組織の充実（10月予定）を図り、具体的な対策を検討・展開していく。

# JPA 日本製紙連合会の安全への取組み（抜粋）

## 1. 全国紙パルプ安全衛生大会

- ・昭和36年より毎年連続して開催中（本年で57回）
- ・参加者による分科会討議（終日：6～9名×約40チーム）

## 2. 安全衛生分科会（主要14社の安全担当者が参加）

- ・安全担当者のレベルアップ、相互交流を目的に年5回開催  
⇒安全に関する専門組織の充実を検討中（前述）

## 3. 経営トップへの働きかけ（於：理事会）

- ・安全講演会 ・安全関係事項報告（月例） 他

## 4. 労働組合への働きかけ

- ・災害事例の水平展開 ・安全活動への共同参画 他

## 5. 同一講師による安全教育（テーマ：重篤災害撲滅）

- ・講師：安全と人づくりサポート 代表 古澤 登氏  
大会、理事会、分科会、労使共同、労組主催 他

※会員会社個社への指導も継続中

## **JPA** 経営理念と安全対策（大会宣言）

本大会は、昭和36年、富山県高岡市において初めて開催されて以来「人命尊重」の理念の下、毎年一度も中断することなく開催され、今年で57回を迎えた。

（中略）

安全管理の徹底に取り組んでいるにもかかわらず、実態に改善は見られず、災害の連鎖を断ち切ることが、現下の最重要課題である。

改めて言うまでもなく、死亡災害は絶対にあってはならない災害である。現在、会員会社・協力が総力を結集し、死亡災害撲滅に向けて取り組んでいるが、今年も死亡災害ゼロを達成することはできていない。我々は、何としても今後の死亡災害の発生を食い止めなければならない。

本大会を契機に全ての関係者が思いを一つにし、半世紀に亘り顕著な成果を上げてきた安全への取り組みを更に強固なものへと進化させ「死亡災害の撲滅」に邁進することをここに宣言する。

平成29年9月13日

第57回全国紙パルプ安全衛生大会